

# [高吐]シスプラチン+イリノテカン療法

外科 管理番号 D411

処方医: \_\_\_\_\_

適応症: 小細胞肺癌

4週を1コースとし4コースくりかえす

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
シスプラチン	●																												
イリノテカン	●							●							●														

身長: \_\_\_\_\_ cm 体重: \_\_\_\_\_ kg 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

[投与スケジュール] ( \_\_\_\_\_ クール目)

Day1( 月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
ラクテック500mL [2時間 点滴静注]	1袋		
ラクテック500mL [2時間 点滴静注]	1袋		
アロキシ点滴静注バッグ0.75mg デキサート注 [30分 点滴静注]	1袋 9.9mg		

生食500mL イリノテカン 60mg/m <sup>2</sup> [90分 点滴静注][炎症性]	1袋	プライミング
生食500mL (全満量注意) シスプラチン 60 mg/m <sup>2</sup> [2時間 点滴静注][炎症性] アレルギー症状注意6~8回以上ほぼ数分以内	1袋	プライミング

ラクテック500mL [2時間 点滴静注]	1袋
マンニトールS300mL [1時間 点滴静注]	1袋
フロセミド注20mg [静注]	1管
ラクテック500mL [2時間 点滴静注]	1袋

Day2( 月 日) Day3( 月 日)

本管	
薬剤名	投与量
生食100mL デキサート注 [30分 点滴静注]	1瓶 8.25mg
ラクテック500mL [2時間 点滴静注]	1袋
ラクテック500mL [2時間 点滴静注]	1袋

Day8( 月 日) Day15( 月 日)

本管	
薬剤名	投与量
グラニセトロン点滴静注用バッグ3mg デキサート注 [30分 点滴静注]	1袋 9.9mg
生食500mL イリノテカン 60mg/m <sup>2</sup> [90分 点滴静注][炎症性]	1袋
生食20mL [静注]	1管

Day9( 月 日)~Day10( 月 日) Day16( 月 日)~Day17( 月 日)

薬剤名	投与量	
デカドロン錠	8mg	1×朝食後

[今回の投与量] [今回の投与量] [今回の投与量]  
 イリノテカン: \_\_\_\_\_ mg イリノテカン: \_\_\_\_\_ mg イリノテカン: \_\_\_\_\_ mg  
 シスプラチン: \_\_\_\_\_ mg  
 [累積投与量] [累積投与量] [累積投与量]

イリノテカン: \_\_\_\_\_ mg    イリノテカン: \_\_\_\_\_ mg    イリノテカン: \_\_\_\_\_ mg  
 シスプラチン: \_\_\_\_\_ mg

[適正使用基準]

1. PS (Performance Status)が0~2である				
2. 重篤な感染症を合併していない				
3. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。				
血液一般検査	WBC (/μL)	4000≧		
	Neut (/μL)	2000≧		
	PLT (/μL)	15万≧		
	HGB (g/dL)	11.0≧		
血清生化学検査	AST (IU/L)	≦40		
	ALT (IU/L)	≦35		
	TBil (mg/dL)	≦1.5		
	BUN (mg/dL)	≦25		
	Cr (mg/dL)	≦1.5		
	Ccr (mL/min)	60≧		

《シスプラチン減量基準》

Ccr>60: 減量なし

Ccr=30~60: 50%減量

Ccr<30: 中止

[DLF]

イリノテカン:

白血球及び下痢(水様便)

シスプラチン

腎障害・悪心・嘔吐・骨髄抑制

シスプラチン 腎障害時用量調節

[白血球減少および下痢の程度による減量の目安] (開発時の臨床試験時)

・CPT-11

白血球減少の程度	再投与時の用量
Grade 0~1 (3000/μL以上)	同量にて継続
Grade 2 (2900~2000/μL)	回復を確認後、同量にて再開
Grade 3 (1900~1000/μL)	回復を確認後、20~25%減量にて再開
Grade 4 (900/μL以下)	投与中止

下痢	(日本癌治療学会)	ECOG Common Toxicity Criteria	再投与時の用量
Grade 0~1	泥状便2~3日	排便回数の増加: 2~3回/日	同量にて継続
Grade 2	水様便3~4日	排便回数の増加: 4~6回/日 夜間便、中程度の腹痛	回復を確認後、 20~25%減量にて再開
Grade 3	水様便5日以上	排便回数の増加7~9回/日 便失禁、重症の腹痛	再開
Grade 4	出血・脱水・電解質異常を伴う	排便回数の増加: 1日10回以上 肉眼的血便、要輸液	投与中止

[DLFを除く重大な副作用]

《イリノテカン》

- ・腸管穿孔、消化管出血、腸閉塞 [腹痛・吐血・下血・腹部膨満感等]
- ・間質性肺炎 [咳・息切れ・呼吸困難・発熱等]
- ・ショック、アナフィラキシー様症状 [呼吸困難・血圧低下等]
- ・肝機能障害、黄疸 [食欲不振・倦怠感・黄疸・検査値異常等]
- ・急性腎不全 [むくみ・尿量低下等]
- ・肺塞栓症、静脈血栓症 [呼吸困難・チアノーゼ等]
- ・心筋梗塞、狭心症発作 [胸痛・呼吸困難等]
- ・心室性期外収縮 [脈の乱れ・心電図異常等]

《シスプラチン》

- ・ショック、アナフィラキシー様症状 [発疹・チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下等]
- ・聴力低下・難聴・耳鳴 [聴力低下・難聴・耳鳴]
- ・うっ血乳頭、球後視神経炎、皮質盲 [視力低下・中心暗点・眼痛]
- ・脳梗塞 [意識障害・頭痛]
- ・溶血性尿毒症症候群 [紫斑・むくみ・尿量低下]
- ・心筋梗塞、狭心症、うっ血性心不全、不整脈 [胸痛・息切れ・動悸・心電図異常等]
- ・溶血性貧血 [めまい・たちくらみ・倦怠感]
- ・間質性肺炎 [咳・息切れ・呼吸困難・発熱等]
- ・抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 [むくみ・痙攣・意識障害]
- ・劇症肝炎、肝機能障害、黄疸 [食欲不振・倦怠感・黄疸]
- ・消化管出血、消化性潰瘍、消化管穿孔 [腹痛・嘔吐・吐血・下血]
- ・急性膵炎 [腹痛・腰背痛]

・高血糖、糖尿病の悪化